

北海道大学大学院法学研究科  
附属高等法政教育研究センター  
年次報告書

26

2025

# はしがき

---

2025年度は、2023年度以降に特に注力してきた、若い世代の育成に関わる活動の継続・発展が見られるとともに、社会連携の観点からは、実務家との連携強化が進んだ1年となりました。

若い世代の育成に関しては、まず、中学生・高校生の訪問受け入れと中学・高校への出張講義の件数が、2023年度以降、増え続けていることが目につきます。中学生訪問の受け入れにおいては、当該中学校を卒業した大学院生が対応した例もあり、研究者を目指す先輩の存在が、北大や法学部、さらには研究者の仕事についての中学生の関心を大いに喚起する様子を見てとることができました。また、若い世代への働きかけの試みであり、ダイバーシティとインクルージョンの観点からも重要な活動としては、今年度も札幌弁護士会の協力を得て開催された、オープンキャンパス特別企画「あつまれ！未来の女性法律家——弁護士・裁判官・検察官に会ってみよう！」や、本研究科教員による北海少年院における法教育もあげられます。

実務家との連携に関して特筆すべきこととしては、11月に法学研究科・法学部と札幌司法書士会との間で連携協定が締結されたことがあります。今後、教育・研究面における協力を進めるべく、具体的な企画案の議論も始まりました。また、9月には、法科大学院と共催の形で、実務法曹・法務関係者を主たる対象とするアドヴァンスト・セミナー「相続法を考える——日本相続法の展開と課題」を開講し、2026年1月には、北海道ブロック再犯防止シンポジウムを法務省と共催しました。

若い世代の育成という観点や実務家との連携の動きは、研究面にも現れています。本研究科の若手教員の研究を支援する目的で始まった「若手研究ランチョン：法学・政治学の最前線」は、今年度も継続して開催され、法学会研究会と共に、スタッフ間の研究交流のさらなる活性化につながっています。また、2026年1月のセンター主催の研究会では、財政法のパイオニアの研究者によって、「財政を法学的に議論する方法」というテーマで国際比較も含む報告がなされましたが、参加者には、様々な分野の研究者に加え、弁護士や司法書士等の実務家も少なからず見られました。

2025年度をもちまして、私のセンター長としての3年間の任期は終わり、2026年度からは新センター長の眞壁仁教授のもとで、研究成果の市民社会への発信の一層の強化なども予定されております。この3年間、センターの活動について、多くの方々のご関心を示して下さい、また様々な形でご支援下さいましたことに、心よりお礼申し上げますと共に、今後もセンターに対するご理解、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

なお、今年度もセンターの多岐にわたる活動についてご尽力下さり、今後も引き続きその活動を支えて下さるセンター長室秘書の小林淳子さんにも、改めて感謝申し上げます。

2026年3月 高等法政教育研究センター長 桑原朝子

# 目次

---

はしがき .....	1
第1部 概要	
1. 部門構成と所属教員 .....	3
2. 研究員 .....	4
第2部 活動報告	
1. 活動記録.....	5
2. センター主催・共催 講演会・シンポジウム・ワークショップ等の概要 .....	6
3. 広報・出版物 .....	12
4. 中学・高校等の訪問対応 .....	13

# 第1部 概要

---

## 1. 部門構成と所属教員

### <センター長>

桑原 朝子 (教授・日本法制史)

### <ガバナンス部門>

尾崎 一郎 (教授・法社会学) [部門責任者]

鈴木 敦 (教授・憲法)

眞壁 仁 (教授・日本政治思想史)

### <法動態部門>

桑原 朝子 (教授・日本法制史) [部門責任者]

中川 寛子 (教授・経済法)

水野 浩二 (教授・法史学)

### <グローバル化部門>

會澤 恒 (教授・英米法・比較法) [部門責任者]

児矢野マリ (教授・国際法)

## 2. 研究員

### 令和7年度高等法政教育研究センター研究員

氏名	所属	職名
伊藤 一頼	東京大学大学院法学政治学研究科	教授
遠藤 乾	東京大学大学院法学政治学研究科	教授
金野 志保	金野志保はばたき法律事務所	弁護士
菅原 寧格	北海学園大学法学部	教授
鈴木 一人	東京大学大学院公共政策学連携研究部	教授
鈴木 賢	明治大学大学院	法学研究科長
橘 雄介	福岡工業大学社会環境学部	准教授
陳 信至	萬國法律事務所	律師(弁護士)
常本 照樹	公益財団法人アイヌ民族文化財団	理事長
西 平等	関西大学法学部	教授
長谷川 晃	北海道大学	名誉教授
平澤 卓人	福岡大学	准教授
宮脇 淳	株式会社日本政策総研	代表取締役社長
吉田 徹	同志社大学政策学部	教授

## 第2部 活動報告

### 1. 活動記録

2025年度において高等研センターが行った活動は以下のとおりである。

開催件数	研究会(講演会、シンポジウム含む)	19件
刊行物	高等法政教育研究センター年次報告書 (2024年度)	2025年5月(WEB公開)
高校・中学等の 訪問対応	訪問受入:道内10件、道外1件	
	出張講義:道内7件	
	その他:オンライン相談会1件	

## 2. センター主催・共催 講演会・シンポジウム・ワークショップ等の概要

### 2025 年度開催件数

研究会(講演会、シンポジウム含む)		全19件
対象別 内訳	研究者	18
	学生・卒業生	19
	一般	5
開催 方式別 内訳	オンライン	12
	(ハイフレックス)	(11)

### 2025 年度に開催した講演会・シンポジウム・ワークショップ一覧

開催日	内 容
4月26日 (土)	<p>法理論研究会定例会「秩序の変遷と沖縄の模合慣習」</p> <p>日 時:2025年4月26日(土)14時～</p> <p>場 所:北海道大学法学部棟 315 号室(センター会議室) (Zoom を利用したオンライン・ミーティングとのハイフレックス)</p> <p>題 目:秩序の変遷と沖縄の模合慣習</p> <p>報告者:渡口 紘子 氏 (北海道大学大学院法学研究科博士課程、法社会学)</p> <p>主 催:北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p>
5月17日 (土)	<p>ワークショップ「体制転換と法」研究会</p> <p>日 時:2025年5月17日(土)14時～18時</p> <p>場 所:北海道大学人文・社会科学総合教育棟 402 号室(W402) (Zoom を利用したオンライン・ミーティングとのハイフレックス)</p> <p>第1報告:坂口 一成(大阪大学教授) 報告テーマ:「中国における「認罪認罰従寛」制度の目的と本質」</p> <p>第2報告:宇田川 幸則(名古屋大学教授) 報告テーマ:「台湾の出入国管理法制」</p> <p>共 催:「体制転換と法」研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p>

開催日	内 容
5月27日 (火)	<p>若手研究ランチョン:法学・政治学の最前線【第6回】林 耕平 氏 「費用賠償・信頼賠償論の課題と展望 ——契約責任における『信頼』保護の一場面</p> <p>日 時:2025年5月27日(火)12時10分～ 場 所:北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟 W409 室 題 目:費用賠償・信頼賠償論の課題と展望 ——契約責任における「信頼」保護の一場面 報告者:林 耕平 氏 主 催:北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p>
5月27日 (火)	<p>講演会「矯正の現状と取組～再犯防止対策～」</p> <p>日 時:2025年5月27日(火)13時～14時30分 場 所:北海道大学文系共同講義棟 8 番教室 題 目:矯正の現状と取組～再犯防止対策～ 講 師:北海道矯正管区更生支援企画課更生支援企画課長 鈴木 理絵 氏 北海道矯正管区更生支援企画課更生支援企画係長 平賀 貴宏 氏 共 催:北海道法学部、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p>
5月31日 (土)	<p>法理論研究会定例会 「妥当な論証と思慮ある論証行為: ライナー・フォアストの正当化物語論を手がかりとして」</p> <p>日 時:2025年5月31日(土)14時～ 場 所:北海道大学法学部棟 315 号室(センター会議室) (Zoom を利用したオンライン・ミーティングとのハイフレックス) 題 目:妥当な論証と思慮ある論証行為: ライナー・フォアストの正当化物語論を手がかりとして 報告者:宮田 賢人 氏(小樽商科大学商学部准教授) 主 催:北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p>
6月21日 (土)	<p>法理論研究会定例会「『法学者たちと出版』(弘文堂、2025年)合評会」</p> <p>日 時:2025年6月21日(土)14時30分～ 場 所:北海道大学法学部棟 315 号室(センター会議室) (Zoom を利用したオンライン・ミーティングとのハイフレックス) 司会者:尾崎 一郎 氏(北海道大学法学研究科教授) 評 者:郭 薇 氏(北海道大学法学研究科准教授) 中村 督 氏(北海道大学法学研究科教授) 串崎 浩 氏(日本評論社取締役相談役) 『法学者たちと出版』の編者・著者: 出口 雄一 氏(慶應義塾大学法学部法律学科教授) 小石川 裕介 氏(関西大学法学部准教授) 森元 拓 氏(東北公益文科大学公益学部教授) 主 催:北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p> <p style="text-align: right;">*JSPS 科研費 23K01206 による研究の一環として開催</p>

開催日	内 容
7月19日 (土)	<p>法理論研究会定例会 「自治体内弁護士: 公的役割と組織の要請のはざま—日米比較を通じて考える」</p> <p>日 時: 2025年7月19日(土)14時～ 場 所: 北海道大学法学部棟 315号室(センター会議室) (Google Meet を利用したオンライン・ミーティングとのハイフレックス) 題 目: 自治体内弁護士: 公的役割と組織の要請のはざま—日米比較を通じて考える 報告者: 平田 彩子 氏(東京大学法学部教授、法社会学) 主 催: 北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p>
7月22日 (火)	<p>若手研究ランチョン: 法学・政治学の最前線 【第7回】松本 洵 氏 「政党の誕生—複数政党存立をめぐる明治期の模索」</p> <p>日 時: 2025年7月22日(火) 12時10分～ 場 所: 北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟 W409室 題 目: 政党の誕生—複数政党存立をめぐる明治期の模索 報告者: 松本 洵 氏 主 催: 北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p>
7月31日 (木)	<p>国際セミナー「Cross-Border Transport and Offshore Storage of CO<sub>2</sub>」</p> <p>日 時: 2025年7月31日(火)15時～17時 場 所: 北海道大学法学部棟 315号室(センター会議室) (ハイブリッド形式) 題 目: Cross-Border Transport and Offshore Storage of CO<sub>2</sub> 報告者: Constantinos Yiallourides 氏 (Senior Lecturer (Tenured Assoc.Prof.), Macquarie School of Law (Australia); Visiting Associate Professor, Waseda University) 使用言語: 英語 主 催: 北大国際法研究会 共 催: 科研基盤研究B「海洋環境・生態系の保全をめぐる統合的な法政策の構築に向けた研究」、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p>
8月4日 (月)	<p>【オープンキャンパス特別企画】 「あつまれ! 未来の女性法律家—弁護士・裁判官・検察官に会ってみよう!—」</p> <p>日 時: 2025年8月4日(月)13時15分～16時30分(受付開始12時30分) 場 所: 北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟(W棟) 対 象: 中学・高校・特別支援学校等に在籍する生徒、法曹に関心のある大学生や社会人、保護者・教育関係者 主 催: 北海道大学法学部・大学院法学研究科・法科大学院・法学研究科附属高等法政教育研究センター 企画・協力: 札幌弁護士会 後 援: 北海道大学ダイバーシティ・インクルージョン推進本部、北海道、札幌市、北海道教育委員会、札幌市教育委員会、北海道新聞社、北海道弁護士会連合会、函館弁護士会、旭川弁護士会、釧路弁護士会</p>

開催日	内 容
9月7日 (日)	<p>令和7年度アドヴァンスト・セミナー 「相続法を考える——日本相続法の展開と課題」</p> <p>対 象:弁護士・司法書士・行政書士などの実務法曹・法務関係者／本学法科大学院修了者・在学生</p> <p>日 時:令和7年9月7日(日)11:00～16:05(昼休み 12:10～13:30)</p> <p>会 場:北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟 W203 教室</p> <p>受講料:無料</p> <p>講 師:水野 紀子 氏(白鷗大学法学部教授、東北大学名誉教授)</p> <p>テーマ:「相続法を考える——日本相続法の展開と課題」 第1部(11:00～12:10)「日本相続法の形成」 第2部(13:30～14:40)「日本相続法の課題」 第3部(14:55～16:05)「平成30年相続法改正」</p> <p>主 催:北海道大学法科大学院／法学研究科附属高等法政教育研究センター</p>
10月25日 (土)	<p>法理論研究会定例会 「犯罪者に対する非難とその隔離は正義に適うのか」</p> <p>日 時:2025年10月25日(土)14時～</p> <p>場 所:北海道大学法学部棟 315号室(センター会議室) (Google Meet を利用したオンライン・ミーティングとのハイフレックス)</p> <p>題 目:犯罪者に対する非難とその隔離は正義に適うのか</p> <p>報告者:島 亜紀 氏(朝日大学法学部/法学研究科教授、基礎法学)</p> <p>主 催:北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p>
11月8日 (土)	<p>法理論研究会／「体制転換と法」研究会共催 『『過剰訴訟 (frivolous lawsuits)』から見たリーガルコンサルティング業: 新たな勢力とその影響』</p> <p>日 時:2025年11月8日(土)14時～</p> <p>場 所:Zoom を利用したオンライン・ミーティング(完全オンライン式)</p> <p>テーマ:「過剰訴訟 (frivolous lawsuits)」から見たリーガルコンサルティング業: 新たな勢力とその影響</p> <p>報告者:侯 猛 氏(中南財經政法大学法学院教授、法社会学)</p> <p>主 催:北海道大学法理論研究会、「体制転換と法」研究会、 北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p>
11月10日 (月)	<p>若手研究ランチョン:法学・政治学の最前線 【第8回】氷見 哲洋 氏 「契約の背後にある(はずの)「取引」 ——契約複合の法的規律における「取引」の考慮」</p> <p>日 時:2025年11月10日(月)12時00分～</p> <p>場 所:北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟 W409 室</p> <p>題 目:契約の背後にある(はずの)「取引」 ——契約複合の法的規律における「取引」の考慮</p> <p>報告者:氷見 哲洋 氏</p> <p>主 催:北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p>

開催日	内 容
12月20日 (土)	<p>法理論研究会定例会『『自然の権利』の人類学:諸世界の翻訳としての法』</p> <p>日 時:2025年12月20日(土)14時～</p> <p>場 所:北海道大学法学部棟315号室(センター会議室) (Zoomを利用したオンライン・ミーティングとのハイフレックス)</p> <p>題 目:「自然の権利」の人類学:諸世界の翻訳としての法</p> <p>報告者:中空 萌 氏(筑波大学人文社会系教授、法人類学)</p> <p>主 催:北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p>
2026年 1月10日 (土)	<p>高等研センター主催研究会「財政を法学的に議論する方法」</p> <p>日 時:2026年1月10日(土)14時～17時</p> <p>場 所:北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟W409室 (オンライン・ミーティングとのハイフレックス)</p> <p>テーマ:「財政を法学的に議論する方法」</p> <p>報告者:藤谷 武史 氏(東京大学社会科学研究所教授)</p> <p>主 催:北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター、北海道大学公法研究会</p>
1月24日 (土)	<p>(共催)令和7年度北海道ブロック再犯防止シンポジウム 「民間協力者による社会課題解決としての再犯防止の取組 ～地域と刑事司法が共生するシナジー～」</p> <p>日 時:2026年1月24日(土)13時30分～16時30分</p> <p>場 所:北海道大学学術交流会館小講堂</p> <p>テーマ:「民間協力者による社会課題解決としての再犯防止の取組 ～地域と刑事司法が共生するシナジー～」</p> <p>内 容:行政説明・広報用動画上映 「矯正における再犯防止の取組」北海道矯正管区 基調講演「再犯防止×地方創生」 北海道芸術デザイン専門学校教員一級建築士 大塚裕介氏 パネルディスカッション「地域と刑事司法が共生するシナジー」 パネリスト 北海道大学法学部教授 小名木 明宏 氏 札幌弁護士会所属弁護士 高野 俊太郎 氏 北海道地域生活定着支援札幌センター所長 小松 大記 氏 北海道芸術デザイン専門学校教員 大塚 裕介 氏 北海道大学大学院法学研究科学生 学生ゲストのため非公開</p> <p>主 催:法務省(札幌高等検察庁、北海道地方更生保護委員会、札幌法務局及び北海道矯正管区)</p> <p>共 催:北海道大学大学院法学研究科・法学研究科附属高等法政教育研究センター、北海道大学教育学研究院、札幌市再犯防止ネットワーク会議</p>

開催日	内 容
<p>2月14日 (土)</p>	<p>法理論研究会定例会 「パーソナライズド・ローとアフーマティブ・アクション」</p> <p>日 時:2026年2月14日(土)14時00分～ 場 所:北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟(W棟)W401室 (Google Meet を利用したオンライン・ミーティングとのハイフレックス) 題 目:パーソナライズド・ローとアフーマティブ・アクション 報告者:森 悠一郎 氏(北海道大学大学院法学研究科准教授、法哲学) 主 催:北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p>
<p>2月17日 (火)</p>	<p>北大法学会研究会 「判決の『事實的』効力に対する法的アプローチ ——第三者の手續保障を中心に」</p> <p>日 時:2026年2月17日(火)14時～17時 場 所:北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟 W409室 (Google Meet を利用したオンライン・ミーティングとのハイフレックス) テーマ:判決の「事實的」効力に対する法的アプローチ ——第三者の手續保障を中心に 報告者:伊藤 隼 氏 主 催:北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p>

## 3. 広報・出版物

### ホームページ

ホームページの充実はセンターの広報に極めて重要である。今年度も継続してホームページ上での企画の紹介に努めた。URLは以下のとおりである。

<https://www.juris.hokudai.ac.jp/ad/>

ホームページの構成は従来の表示方式をそのまま踏襲しながら、更新作業を行った。

コロナ禍以降、研究会等のオンライン開催が定着し、センターの主催・共催行事にも、ホームページを通じて多くの問い合わせが寄せられるようになった。学外の研究者・学生、一般といった幅広い層からの関心とニーズに的確に対応出来るよう、有効な情報発信を心がけていきたい。

## 4. 中学・高校等の訪問対応

2016年度から、中学・高校等からの訪問を積極的に受け入れることにした。これまで法学研究科の教員が散発的に受け入れていた訪問の窓口を本センターに一本化し、中学・高校と大学の双方の準備がスムーズに進むようにしている。

### 学部訪問

実施日	学校名	備考
5月13日(火)	砂川市立砂川中学校	2年生
5月22日(木)	根室市立光洋中学校	3年生
6月25日(水)	恵庭市立柏陽中学校	2年生
7月10日(木)	石狩市立花川南中学校	3年生
8月12日(火)	北海道札幌北高等学校	
10月3日(金)	札幌国際情報高等学校	※ゼミに参加
10月23日(木)	札幌市立山鼻中学校	3年生
11月11日(火)	札幌西高等学校	※ゼミに参加
11月21日(金)	札幌市立啓明中学校	3年生
12月5日(金)	大分県立大分上野丘高等学校	2年生
12月5日(金)	札幌西高等学校	※ゼミに参加

### 出張講義

実施日	学校名	備考
7月28日(月)	北海少年院	教養講話(法教育)民事法
8月12日(火)	北海少年院	教養講話(法教育)憲法
8月13日(水)	北海少年院	教養講話(法教育)刑法
8月14日(木)	北海少年院	教養講話(法教育)法学
8月15日(金)	北海少年院	教養講話(法教育)政治学
8月29日(金)	釧路湖陵高等学校	
11月5日(水)	札幌東高等学校	

### その他

実施日	学校名	備考
10月5日(日)	北大進学相談会	※オンラインでの個別相談

## 高等法政教育研究センター一年次報告書 26

---

2026年5月発行

編集発行 北海道大学大学院法学研究科  
附属高等法政教育研究センター

札幌市北区北9条西7丁目